



患者総合支援センター たより



発行部署：患者支援課
発行責任者：患者支援課長
連絡先：06-6645-2857

〔特集〕 2022年3月末稼働開始 予定

PART1

MRリニアックのここがすごい！

※ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、稼働開始時期が変更となる可能性がございます。

PART2 は次号へ続く

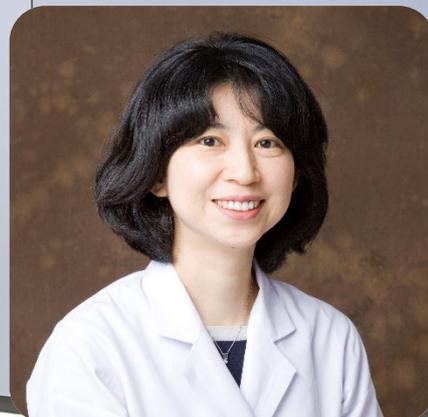
contents

『MRリニアックのすごいところって一体どこ？』

診療科TOPICS

『女性診療科』『眼科』

西日本初導入！！



放射線治療科 診療科部長
澁谷 景子

がん患者さん一人ひとりと向き合い

より最適な高度で最先端の医療を安全に提供して参ります。

院内関係者の声



『放射線治療科における医師・技師・看護部門のチームが、
いっそう患者さんに喜んでいただける 放射線治療を導き、
その治療技術の確立において、大きな医療貢献を果たしてくれると期待しています。』



『MR リニアックでは、
まるで MR 画像を確認しながら手術を行うように照射することができます。』



『MR 装置の活用はまったく新しい 概念の放射線治療に繋がると考えています。』

MRリニアックの すごいところって 一体どこ？



今回はMRリニアックの機能について、詳しくご説明します。

すごい機能PART1 PART2 は次号へ続く

adapt to position 位置の変化に対応する機能

〔通常リニアック治療の場合〕

治療の数日前にCTを撮影し、その画像をもとに照射範囲について計画を立てます。そして腫瘍の移動する範囲を予測または事前に計測し、動き得る範囲をすべて含めるように照射範囲を設定します。そのため放射線が強くあたる範囲に、日によっては、リスク臓器（腸などの放射線に比較的弱く副作用の出やすい臓器のことをいう）が多く含まれることとなります。

〔MRリニアック治療の場合〕

腫瘍の位置を治療直前及び照射中にもCTでは難しかった軟部腫瘍の形状、大きさ、位置をMRI画像でいつでも確認できます。そのためその時の腫瘍の位置に合わせて照射範囲を変更し、放射線量の再計算と検証ができます。この機能によって、常に腫瘍周囲の限られた範囲にだけ放射線を強くあてることや臓器への影響を小さく抑えることができ、患者さん一人ひとりに合わせた精度の高い治療の実現が可能です。

例 腸管R1の形や位置がR2へ変化し、隣接する腫瘍T1がT2の位置に移動した場合

